

RePUBLIC TOKYO

ReNOVATION

民間ノウハウ>>
公共空間

realtokyoestate
東京R不動産

東京R不動産について | 売主・貸主様へ | 仲介業者様へ | メールサービス | コラム | お問い合わせ | HOME

① 知っておいて欲しいコト

東京R不動産をご利用頂くにあたり、最初に知っておいて頂きたいことをまとめてみました。

お読みください



🗨️ 募集中

R不動産のリノベーション
不動産コンサルティング
売買物件募集中！
スタッフ募集

✉️ メールサービス

ご希望の条件にあう物件が出たらお知らせする新着お知らせと毎週配信のメールマガジンの登録はこちら。

登録ページへ

🔍 検索

🔍 詳細物件検索

- 売買物件
- レトロな味わい
- 眺望GOOD
- 水辺/緑
- 郊外/リラックス
- with ペット
- 改装OK
- 戸建て/一棟
- お得なワケあり

おすすめ

新着



NEW! 突き出した2.5畳

横浜市港北区大倉山
25.55平米/7万円

RENT

突き出した部屋より大きなバルコニー。大倉山ののどかな住宅地が広がるこの地域。遠くの方まで見渡せます。部屋位置的にも最上階の角なので独立感がありますね。それ以外は至って普通の....



NEW! ポカポカと、だけど激しく「変わる」

杉並区浜田山
36平米/12万3000円

RENT

穏やかな町「西永福」。閑静な住宅街が広がっていて、スーパーや小さい商店街もあります。そりゃ、季節にもよりますが、ポカポカしてお昼過ぎに歩いていると、どういわけか、お昼寝したくなっちゃう町....



代々木上原3分、こっそり緑あり

渋谷区大山町
148.5平米/45万円

RENT

代々木上原の駅からちょっとと住宅街に入っていったところに存在感のある一回の集落のように見える集合住宅の一番奥。こんなところにこんな空間があったとは。。この辺りの家は確かに道を歩....

📖 新着コラム



2010.10.26 NEW!
"終わりは始まり"「CET2010 / OPEN END」のお知らせ
セントラル・イースト・トーキョー 2010、開催中!

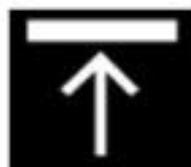


2010.10.26 NEW!
東京のヒガシでお茶をいっふく
CET2010におこしの際には、「回季」でおいしいお茶と和菓子どうぞ。

About Website



改装OK



天井が高い



水辺／緑



倉庫っぽい



レトロな味わい



売買物件



屋上／テラス



一棟丸借り



With ペット



お得なワケあり



海外物件



オマケ付き



デザイナーズ



眺望GOOD

東京R不動産とは？

「realtokyoestate/東京R不動産」は、新しい視点で不動産物件を発見し、紹介していくサイトです。

ここでは、普通の不動産紹介では拾いきれないような、物件の隠れた魅力を掘り出します。

一風変わった物件も見方を変えれば、また人によっては、それが宝物のような空間かもしれないのです。

重要なのはそのマッチングだと思います。

今まで本当に欲しい物件と出会うための適当な情報に、なかなか出会えないという経験はありませんか？

例えば

「倉庫のような物件を探しているのですが……」

「改装してもいい、現状復帰義務なしの物件ありませんか……」

「オフィスを改装して住んでみたいのですが……」

普通の不動産屋さんでそんな要望を話し出すと、怪しまれたり、「ないよ」とあっさり追い返されたりします。

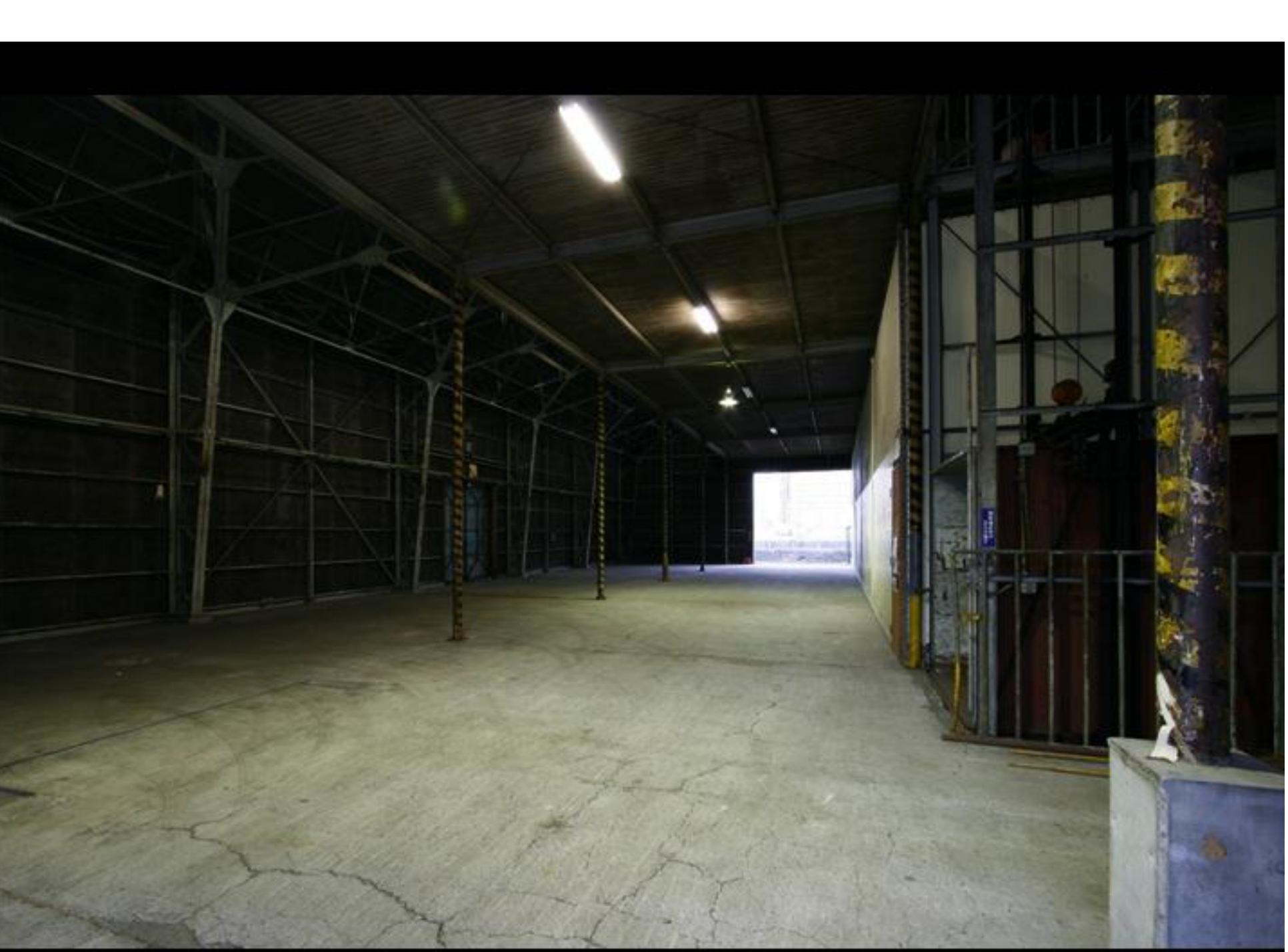
でも、よく探してみるとそんな物件も存在するのです。私たちは日々、

そんな物件を膨大な不動産市場のなかから丹念に探し出しています。

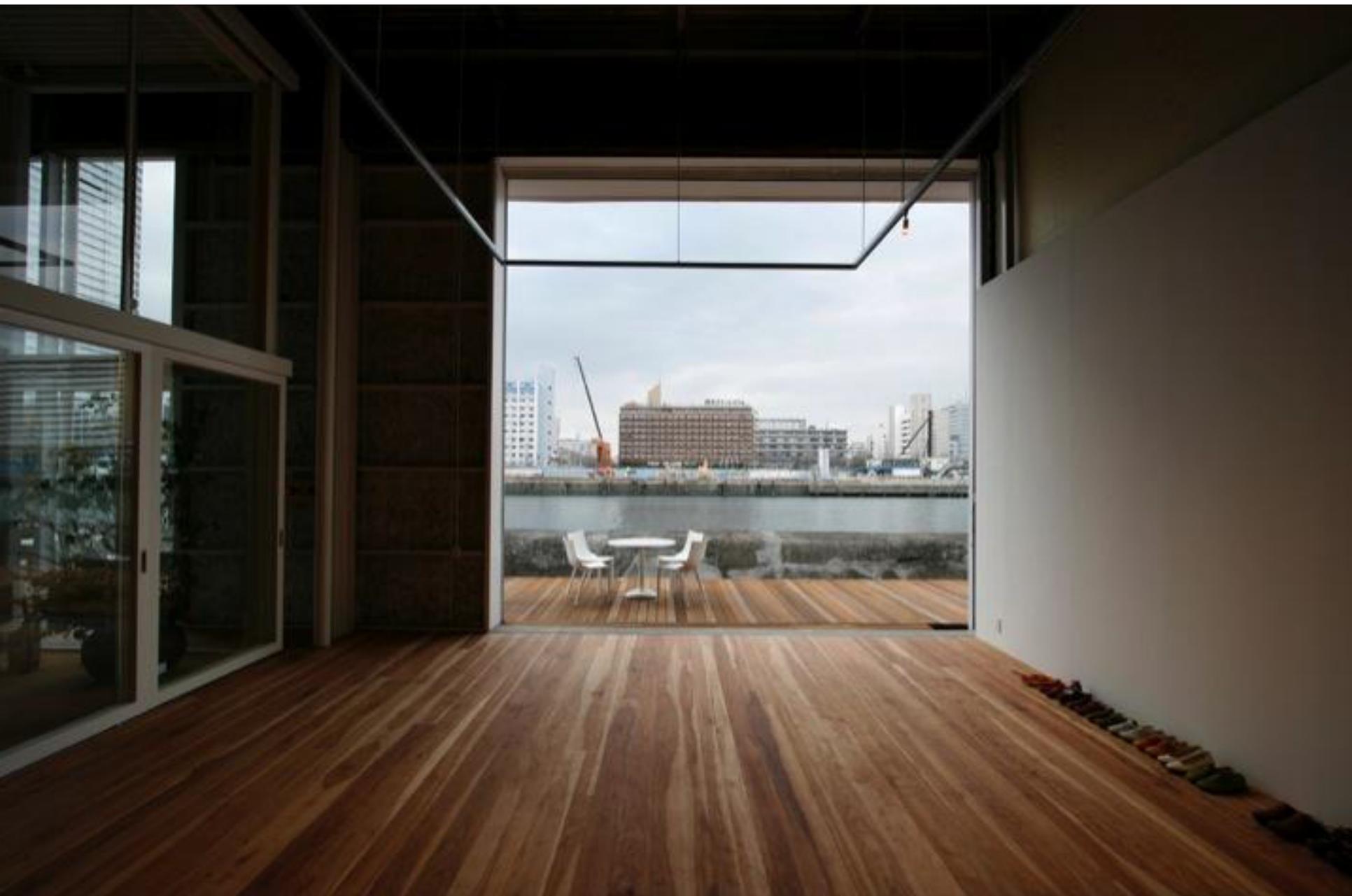
このサイトは不動産のセレクトショップであり、同時にまったく新しいタイプの不動産メディアなのです。





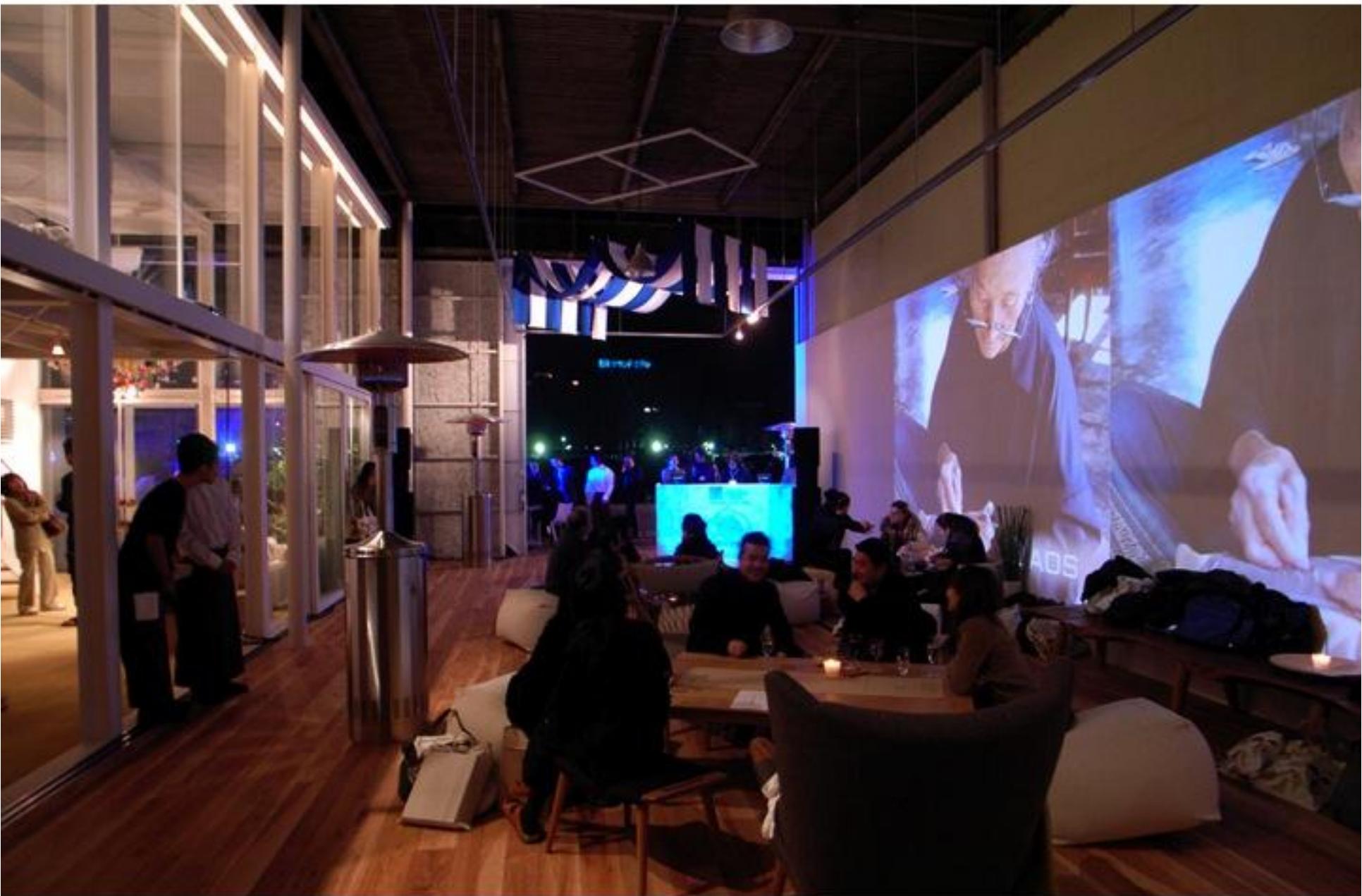














富士通

F

ISO-14001





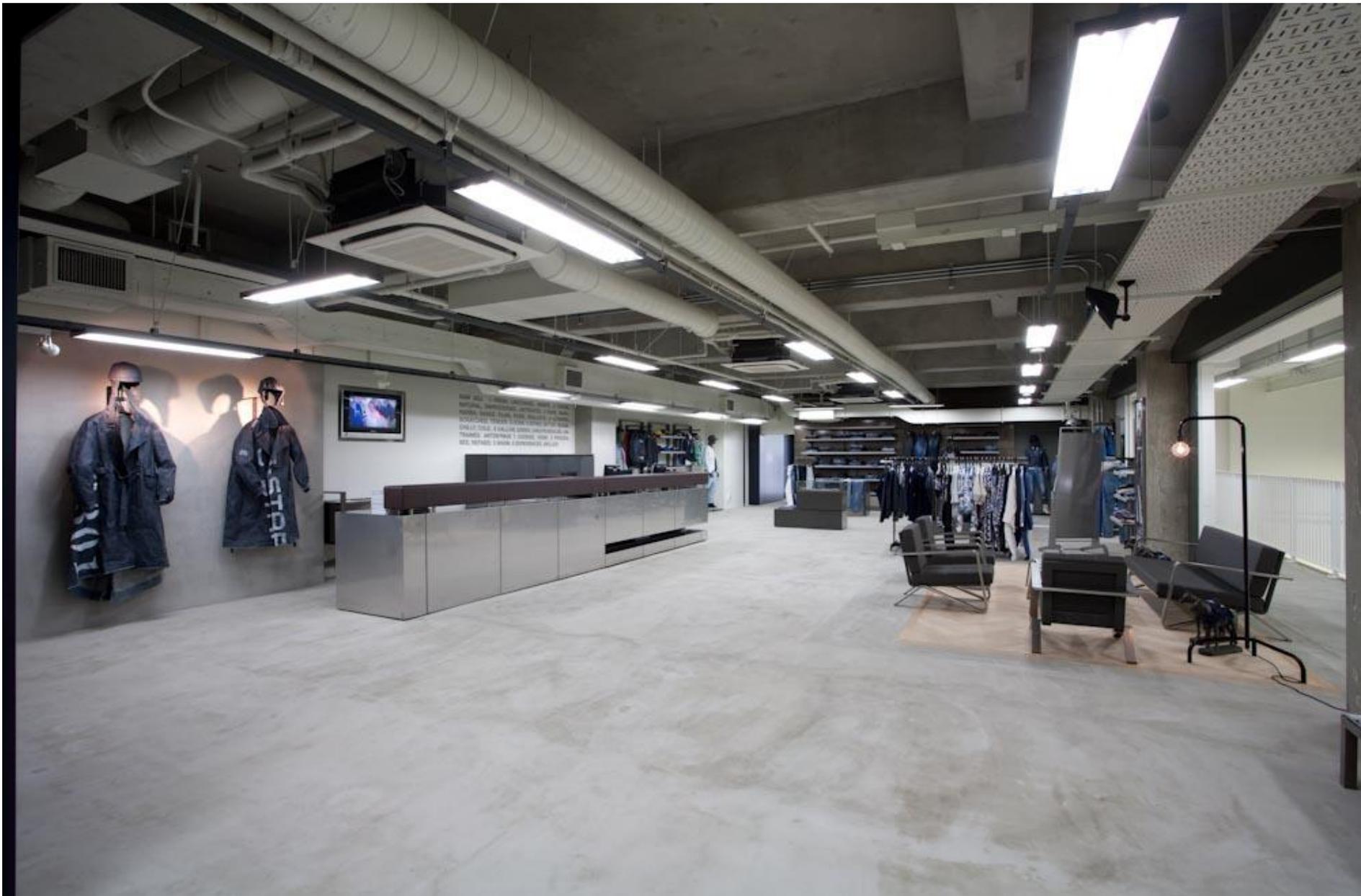




TABLOID

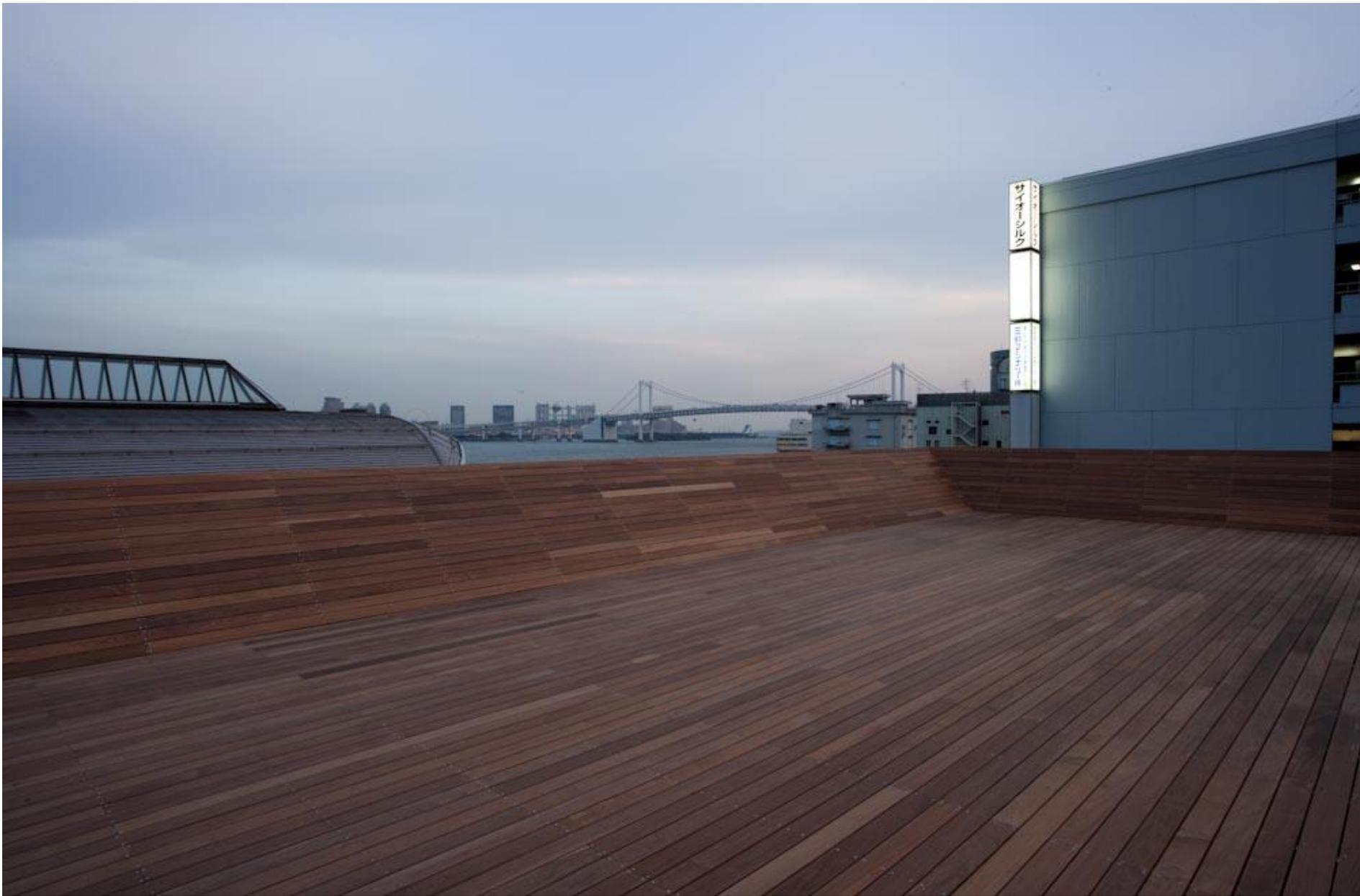
WORLD'S
55
FUTURE











POLICY
It introduces here about the whole content of "Tabloid"
that is born by doing the buildings conversion.

Startion new culture.

MEMORY

Coming in succession
Changing in quality.

ORGANIZATION

However

It is not significant only by the offer of a creative space.

CONVERSION

VISION

It plays, it works, and it grows. It is an exaggeration to say that those enhancements will become the most important factor in doing creative work. Space "TABLOID" is here.

BOLDNESS

TRANSMISSION
GATEWAY
OFFICE MEDIA
PRESENT

TABLOID



BEFORE





AFTER

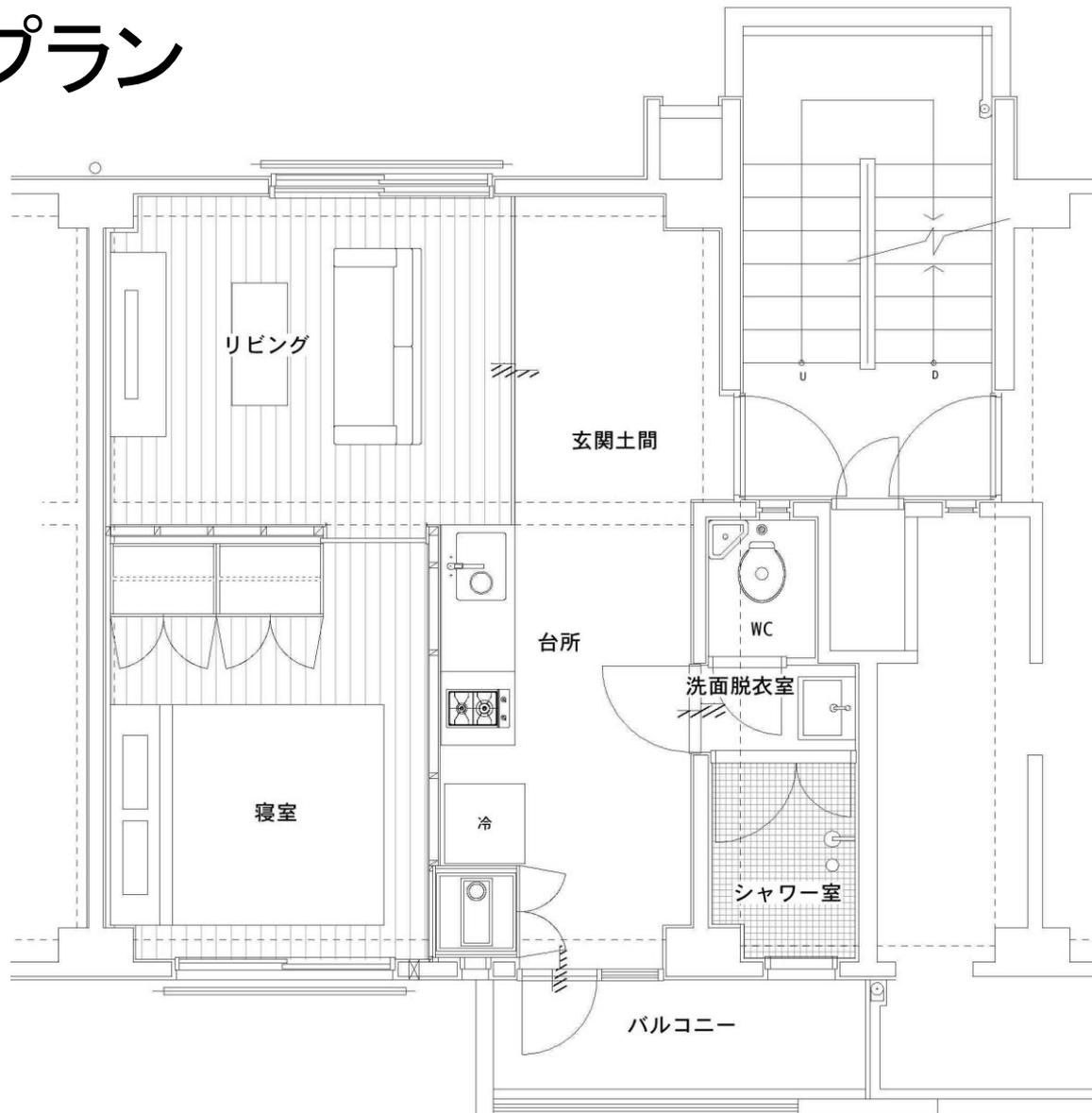


AFTER



AFTER

土間プラン





AFTER



KANGETSUKYO
DANCHI
12

RePUBLIC



公共空間の リノベーション

馬場正尊 + Open A

東京R不動産のディレクターが挑む
公共空間を楽しくするための
理論 / 実践 / アイデア。

学芸出版社

PUBLIC DESIGN

新しい公共空間の つくりかた

馬場正尊 + Open A

木下斉 — 地域経営

松本理寿輝 — 教育・まちづくり

古田秘馬 — プロジェクトデザイン

小松真実 — 金融・コミュニティ

田中陽明 — クリエイティブプラットフォーム

樋渡啓祐 — 政治・行政

新しいパブリックを切りひらいた、
6人の実践者による6つの方法論。

マネジメント / オペレーション / プロモーション /
コンセンサス / プランニング / マネタイズ 学芸出版社

7つの公共空間リノベーション

- 公園のリノベーション
- 役所のリノベーション
- 水辺のリノベーション
- 学校のリノベーション
- ターミナルをリノベーション
- 図書館のリノベーション
- 団地のリノベーション

公園を リノベーション

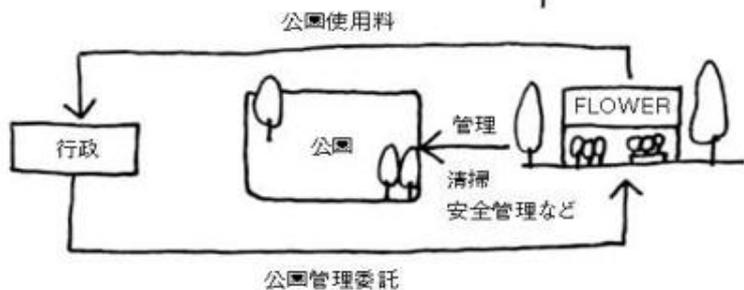
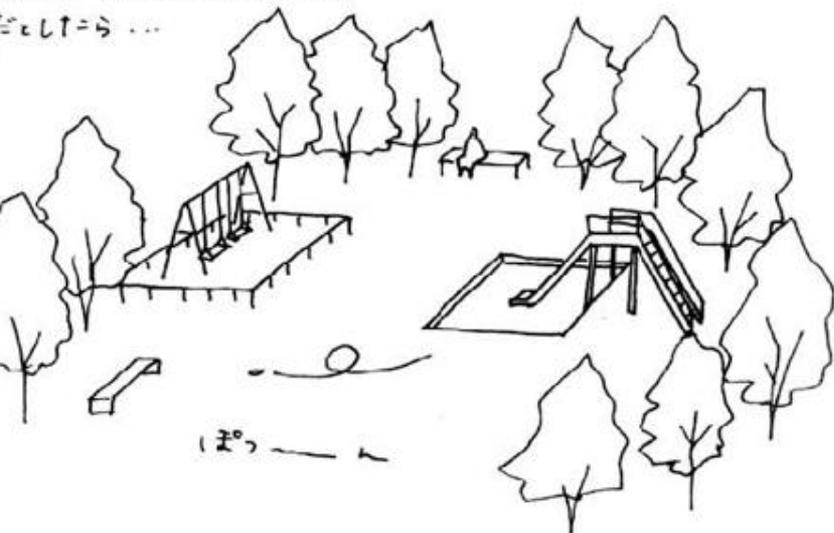
公園は誰のものなのだろうか？

公園は今、本来の目的のために使われているだろうか。
子どもたちを自由に、安全に遊ばせることができるだろうか。
あなたは最近、公園をうまく利用したことがあるだろうか。
人々の声が消えた公園は、「公共/public」の概念が硬直している状況を象徴している。
公園の在り方について再認識することは、新しい公共について考え直すきっかけになる。



公園で上がった利益を、 公園に還元する仕組みをつくらう。

人口も減り、往時の小さな公園は
びしくなった。
また、維持上の問題もあり、
行政の管理負担も大きい。
どうしたら...



公園の清掃は
カフェの運営者の役割に!

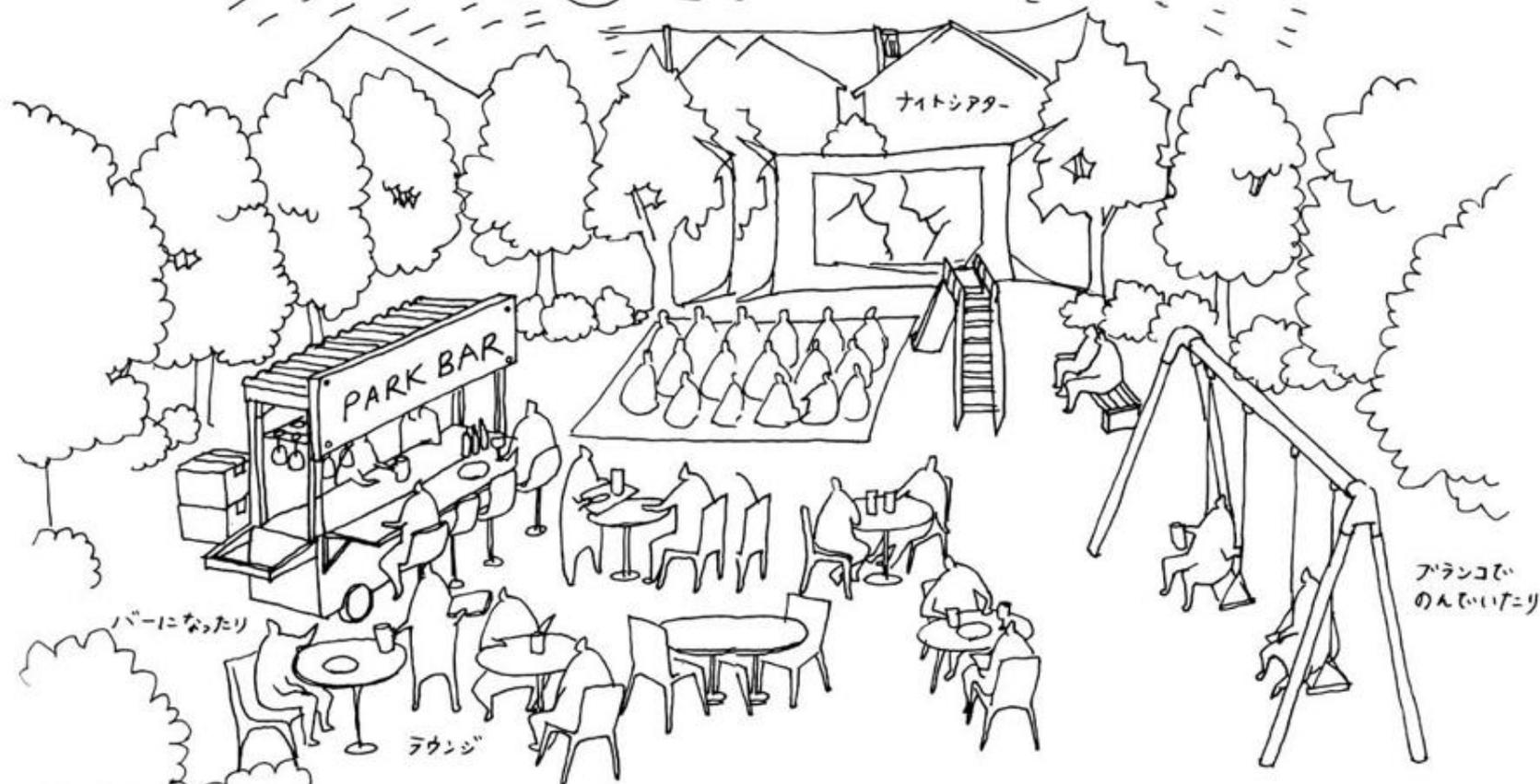


小さなカフェでは
お母さんはお茶しながら
子どもが遊んでいるのを見守る

関わるみんなが幸せな構造をつくるには。

現在、公園では営業行為が禁止されている。しかし公園内の清掃や管理を
務めることで、キオスクのように小さな飲食や物販営業を許可してみる。
使用料や上がった収益の一部は公園の維持に還元される。そんなシステム
整えられるなら、公園をよりポジティブに使えるのではないだろうか。
児童公園の中に小さな花屋があって、その花屋が公園も管理している、と
うような状況が起これば、公園も安全で美しくなる。訪れた人たちもハッピー
空気の沈滞した児童公園が、それだけで復活する。

夜は別の顔を持つ公園。



眠っていた夜の公園を呼び覚ます。

都市の公園は夜になると街灯も少なく、入りづらくなる。それが防犯上問題になることもある。夜の公園は都市のなかでうまく機能していない。だとするならば、夜の公園に別の機能を持たせてはどうだろうか。たとえばナイトシアター。暗さを利用して映画「ニュー・シネマ・パラダイス」のように屋外

の映画館をつくってみる。近くに住む人々がふらりと訪れ、みんなで一緒に映画を見る。

夏は小さなビアガーデンをオープンする。近所の住人たちと一緒にバーベキューをしながら暑い夏に美味しいビールを飲む。結果的に、それが失われかけている地域コミュニティをつなぐきっかけになるかもしれない。

公共空間を
リノベーションで
民間開放

公開空地の再生





民有地を時限的 パブリック化

道頓堀角座

設計 Open A 北梅組

施工 北梅組

所在地 大阪府大阪市

DOTONBORI KADOZA

architects OPEN A, KITAEUMEGUMI



劇場と街をむすぶ 広場のデザイン。

道頓堀角座(大阪市)

Open A works



ガラス張りの劇場、縁日のような広場。

かつて道頓堀には、角座、浪花座、中座、朝日座、弁天座という五つの芝居小屋があり、「五座」と呼ばれ、上方芸能の中核をなしていた。街に役者たちが闊歩した道頓堀も、劇場の求心力の低下とともに、最近では当時の勢いを失っていた。

2013年夏にオープンしたこのプロジェクトは、かつての角座があった空地に、29年ぶりに劇場を復活させ、道頓堀の芸能文化再生のきっかけにしようというもの。120席の劇場と、その前に広場を配置する。コンセプトは、とにかく街に開くこと。

劇場の中はガラス張りです外から丸見えで、劇場の活気や気配が街にしみ出

るような構造とした。芸人たちがリハーサルをしたり、スタッフが舞台を建て込む様子が垣間みえる。舞台が跳ねた後は、その余韻が観客とともに外に漏れ出る。通りを歩く人々にいきいきとした舞台の息づかいを感じられるような工夫をしている。

広場は、道頓堀と角座をつなぐ空間で、劇場から見れば広場はオープンエアのホワイエでもある。キッチンカーや屋台、ドームテントなどが乱雑に軒を並べる雑踏のホワイエ。芝居を待つ間はそこで楽しく飲んだり食べたりできる。ただの通行人もそれに混ざっている。芸人が屋台で店員をやっていたり、その場で即興のコントを始めて居合わせた客を笑わせたり…。

楽しむ側も、楽しませる側もごっちゃになった、さまざまなハプニングが起こる美しい広場にしたい。1年中やっている縁日のような場に。

水辺を リノベーション

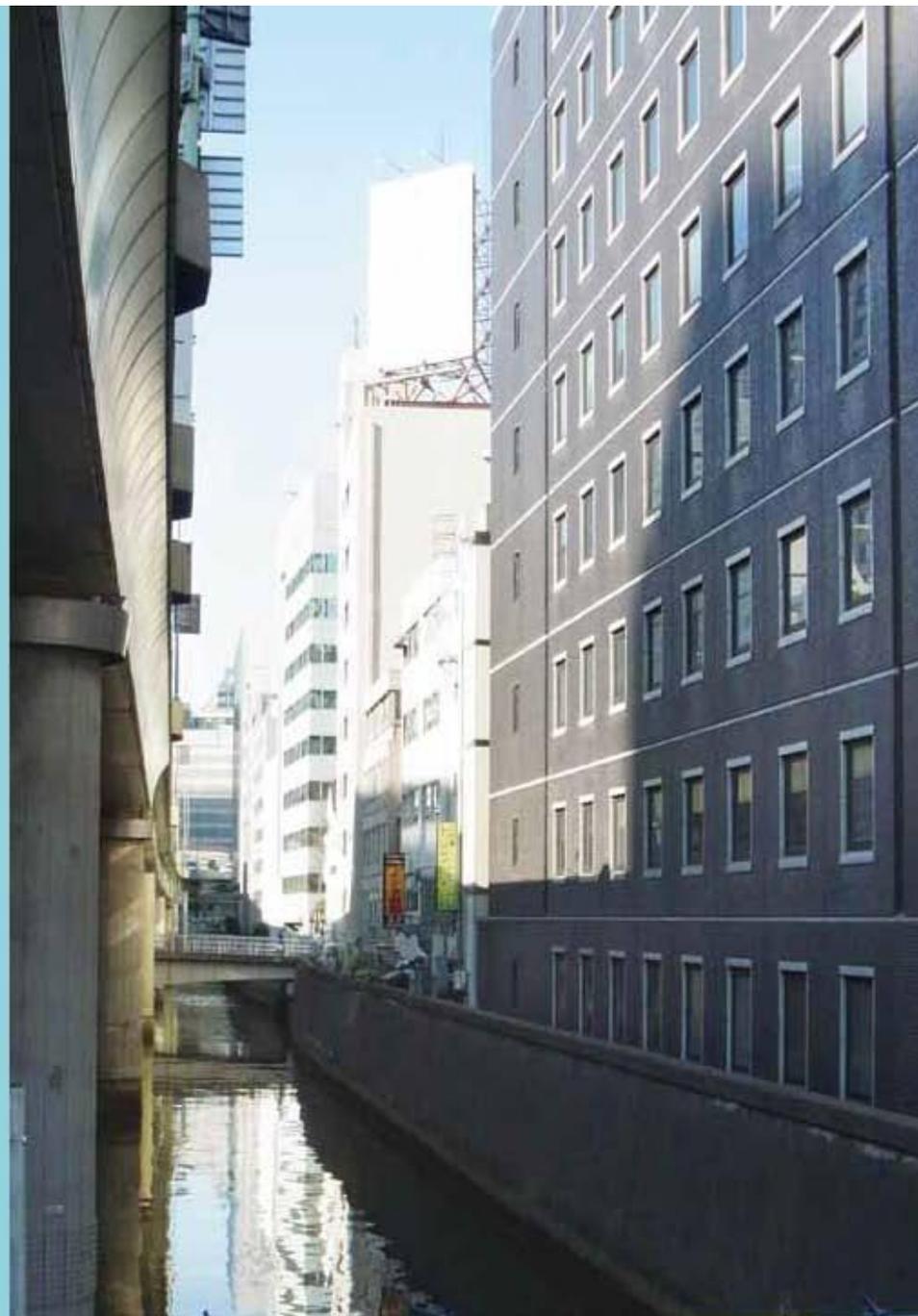
なぜ、日本の建物は水辺に背を向けて
建っているのか？

かつては江戸も大阪も水の都と呼ばれていた。ベネチアのように水運に恵まれ、人や物資が行き交っていた時代もあった。

しかし現在、私たちと水の距離は遠い。物理的には近くても、間にはカミソリ堤防と呼ばれるコンクリートの壁があり、両者を遮っている。戦後の治水や土木行政の歴史が人と水辺を隔絶していったのだ。

しかし、そこに都市の可能性が眠っていることを僕らは知っている。

日本の水辺をいかにして開放するか？ さまざまなトライアルから、その具体策を探る。



京都鴨川の川床は、どのような 仕組みで復活したのか。

風物詩を守るルールと組織。

江戸時代に始まった京都鴨川の「床」は治水工事、台風、規制などで一度姿を消したが、迂余曲折がありながら、戦後、1951年に協議会が発足し、復活した。市民が望んだからこそ実現した風景だ。伝統的なこの水辺の使い方、そして市民・行政と自然とのつきあい方に、日本の水辺開放の模範がある。

江戸時代から鴨川の河原は見世物や物売りで賑わっていた。それに次いで茶屋ができたのが今の川床の起源と言われている。多いときには、400の茶屋が床を並べていた。

その後、川床は自然や時代の迂余曲折にさらされることになる。1934年の室戸台風と集中豪雨により床がすべて流されてしまうが、補修工事によって現在の原型がつくられる。第二次世界大戦下の1942年、灯火管制のため床が禁止となる。しかし戦後、復興とともに復活し、1952年には納涼床許可基準が策定され、一定の法のルールの中で運営されることになる。現在では、5月から夏にかけて床での営業が認められている。

京都府では、鴨川の伝統的な景観を地域の資源として活用するために鴨川納涼床設置基準を設け、川床の許可を任意団体の京都鴨川納涼協同組合に委ねることになった。この組織が河川敷占用料や設置基準のとりまとめを行い、河川管理者である行政との調整を一括して行う。

このように伝統的な景観や風物詩を残そうとするコンセンサスがとれ、行政側もそのメリットを十分に理解すれば障害をクリアすることができるモデルである。地域、民間と行政がルールを共有するプロセスを経て、責任の所在を使い手側へ委ねていく。京都という特殊性も働いているが、段階を踏んで川床を可能にした鴨川モデルは、水辺利用に多くのヒントをもたらした。



このテラスは合法です。

北浜テラス(大阪市)

社会実験が可能にした、
小さいけれど大きな意味を持つテラス。

何気ない風景のように見えて、この写真は水辺開放を象徴している。私有地に設置したテラスが、公共財の堤防の上まで伸びているからだ。最近まで、この空間をカフェの一部として営業することは、正式には違法だった。しかし社会実験の一環として、私有地と公共の河川空間をつなぐ場の有効活用が提案され、それを実現している。社会的なコンセンサスが得られれば、決められたエリアにおいてこのような活動が可能となる。こんな気持ちよさそうな場所が、都市のなかにどんどんできてほしい。



↑
私有財の建物

テラスを引っ掛けて
つないでいる

公共財の護岸

規制緩和された 水辺を使おう！

水辺には新しい自由が広がっている。

河川使用の規制緩和によって水辺の可能性は一気に拡張した。地方自治体が指定した水辺においては、たとえばカフェやイベントスペースなどをつくれるようになった。

すでに一部の街では始まっている。東京の渋谷区や台東区では規制緩和を利用して、早速新しい施策を打ち出し実験が行われている。

水辺が多い都市は、この制度を利用することで、博多の屋台街のような名所をつくって新しい賑わいを呼ぶことができるかもしれない。

面白い河川法で
こんなこともできるようになった

図書館を リノベーション

最近、図書館に行きましたか？

読みたい本があればネットで探し、欲しい本は通販で翌日には自宅に届く。かつて図書館が担っていた役割はすっかりインターネットに移行してしまった。

この先、図書館は存在するのだろうか。デジタル化で消滅するビルディングタイプなのだろうか。

でも思い出してほしい。

本に囲まれた空間にたたずむ時間、独特の匂い、静けさのなかでページをめくる音…。物質としての本と空間がくれるのは、ネットでは味わえない経験。

この時代だから求められる図書館とは？



公園に開いた オープンエア図書館。

図書館と公園を隔てる壁をぶち壊せ。

まず図書館がどんな空間と隣接しているのかを確かめる。案外いい立地に建っていて、公園や自然に隣接していることが多いことに気がつく。

両者の間を隔てる柵や壁、フィックス窓の一部は抜いてしまえないだろうか。それが可能なら、使い方の可能性は一気に広がる。

目の前の公園も図書館の一部になり、晴れた日は木陰で読書。かつては本の館外持ち出しはできなかったが、今ではICタグなどでセキュリティ管理は容易になった。



図書館の中に 書店とカフェが出現。

佐賀県・武雄市図書館

空間が気持ちよいためから
来場者も増えていく

図書館の本と書店で販売している本が混在

自分の好きなスタイルで読書を楽しめる図書館。

人口5万人の佐賀県武雄市。他の地方都市と同じように、図書館は必要不可欠だが、市民のニーズに合わせたサービスを維持していくのは大変だ。

そこで武雄市が打ち出したのは、蔦屋書店を運営するCCC（カルチャ・コンビニエンス・クラブ）に、指定管理者制度を用いて図書館の運営・管理業務を委託すること。CCCは図書館に併設されたCD・DVDレンタル、書籍の販売などの自主事業と委託費の組み合わせで収支を合わせる。

年中無休で午後9時まで開館され、利用者は画期的に増えた。支出を抑えられた行政にとっても、新規事業に着手したCCCにとってもいいシナリオ。

スタバとつながり、
コーヒーを飲みながら読書など

団地を リノベーション

団地で遊んだ思い出はありませんか？

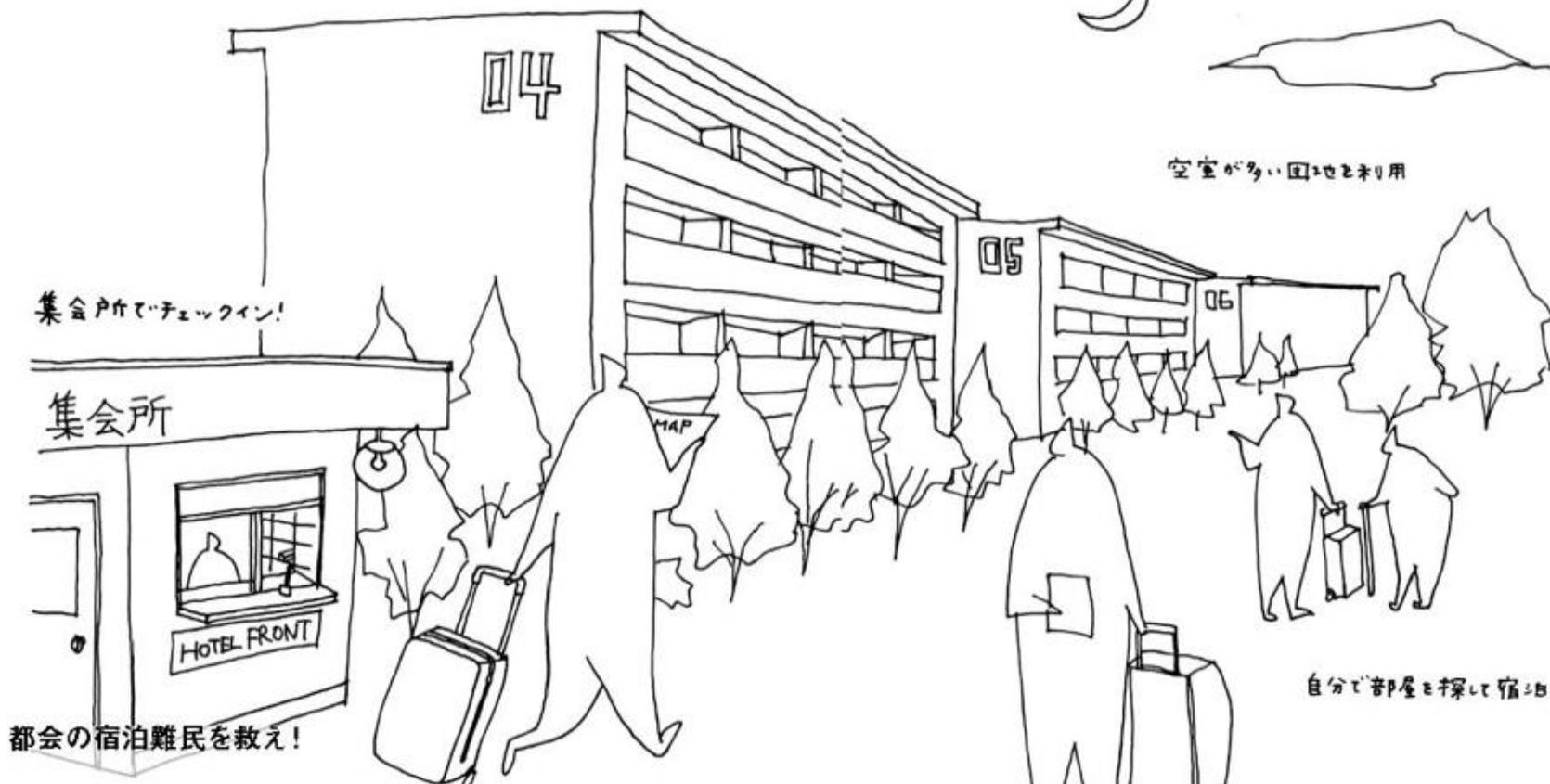
かつてはたくさん家族が住んでいた団地。自分や友達の誰かが団地に住んでいるのは普通だった。住棟の間にはゆったりとした空き地があって、車の来ないその場所で遊んでいた記憶がある人も多いのではないだろうか。

しかし今、団地は高齢化が進み、空室率は高まり、子どもの遊び声が聞こえなくなっている。

落ち着いてこの空間を見直せば、ゆったりとした敷地と低層で愛嬌のあるボリュームが連続する風景は、新たな公共空間としての可能性に満ちている。



団地を若者が集うホテルに。



都会の宿泊難民を救え!

ホテルといっても本格的なサービスは必要ない。安全で清潔な宿泊機能とインフラがあればいいだけのシンプルなホテルだ。たとえば、集会所がフロントで、鍵だけもらって自分で部屋を探してチェックイン。

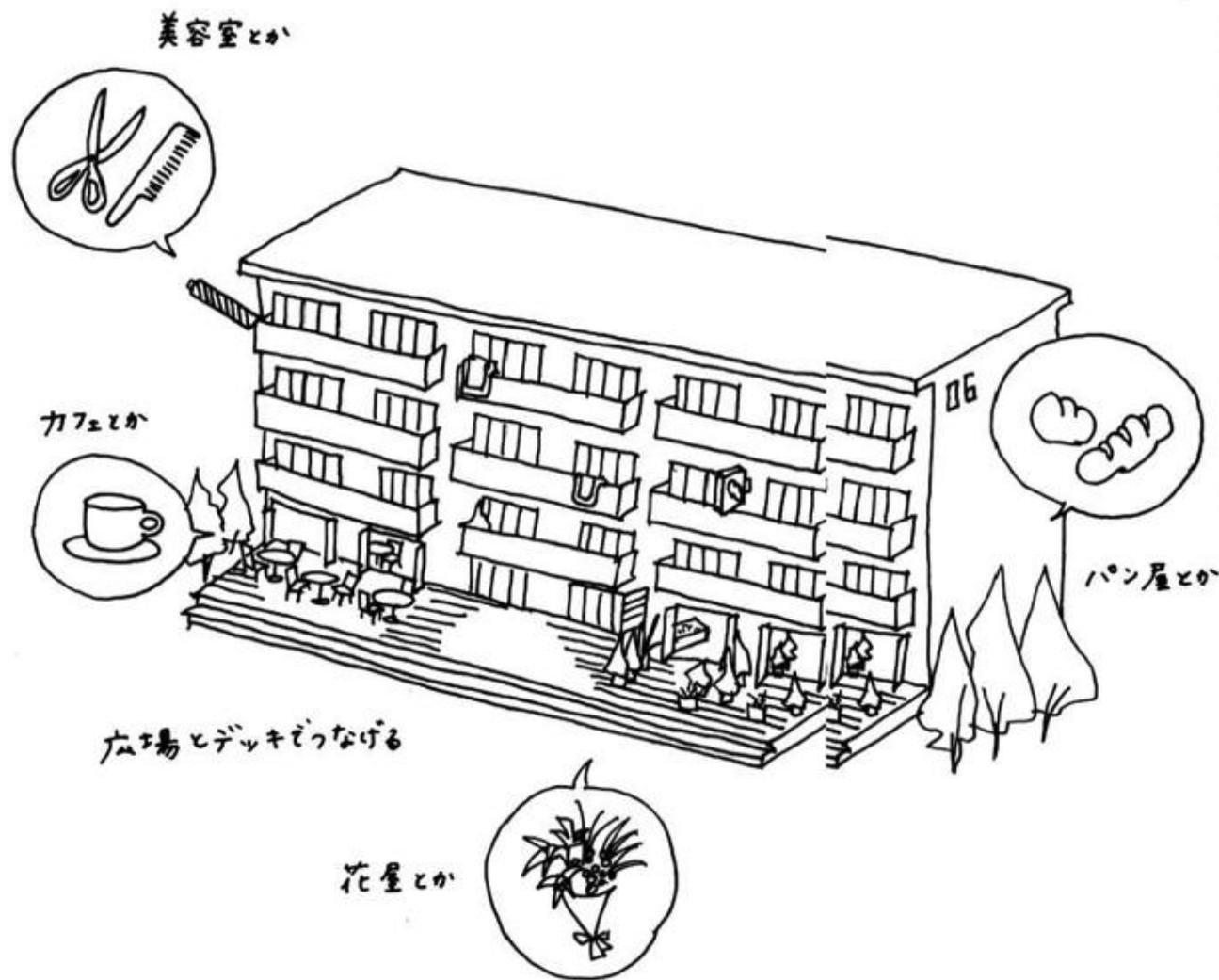
現在、就職活動や企業のインターンシップで都会に1週間単位で滞在しなければならない若者が増えている。若い外国人観光客、バックパッカーたちも同様だ。彼らはお金がないから適当な宿泊施設が見つからず、マンガ喫茶を

ハシゴしたり、危険が伴う安宿に仕方なく泊まっている女子大生も多い。それが社会問題化している。

だとするならば、余った空間のある団地をそのままの構造でホテルにしてはどうだろう。ハードの変更が少なく、安全な場所を提供することができる。

さまざまな地域、国から集まった若者が集うホテル、想像するだけで、なんだかとても楽しそうだ。

団地に住んで、団地で働く。



団地は職住一体の暮らし方に最適。

団地の1階ベランダ側を、目の前の広場とつなげてしまう。団地の足下は一気に賑やかで、楽しい空間になるだろう。

ここでは団地の上の階に住みながら、下の階で働くという職住一体の居住を提案する。このスタイルは「下駄箱式」と呼ばれ、60年代までの商店街などで主流だった。しかし職住分離によって、住宅が郊外化し次第に減っていった。街は買い物や仕事をするところで、郊外は寝に帰るところと、生活は二分された。これが街から賑わいを奪った原因の一つだ。

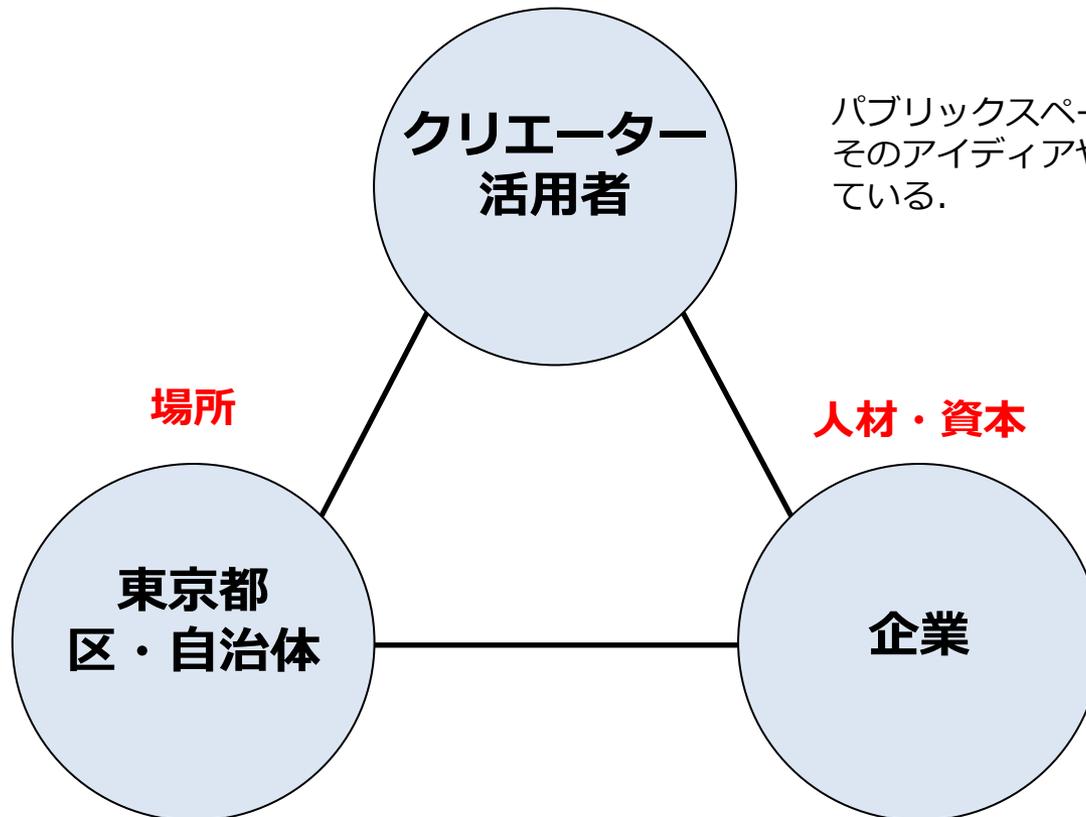
しかし今、住む場所と働く場所が再び一緒になった生活をする人が増え始めている。SOHOと呼ばれるようなスタイルがそれだ。

かつては下の階が店舗であることが多かったが、たとえばアトリエやオフィス、ギャラリー、小さなカフェのような使い方もいい。

RePUBLIC TOKYO

これらをつなげる仕組みがないだろうか？

アイデア・デザイン

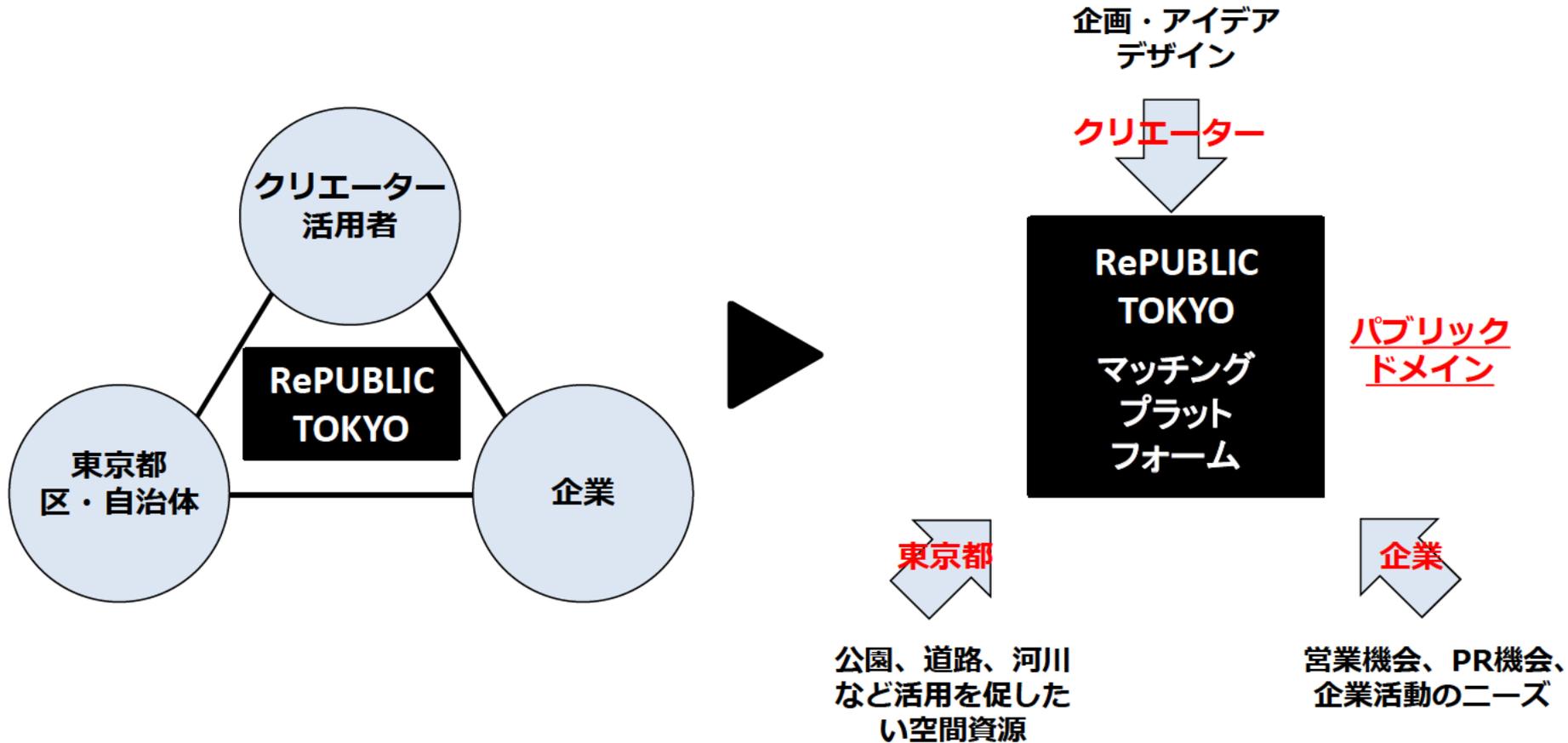


パブリックスペースを活用したい、
そのアイディアやデザインを持つ
ている。

パブリックスペースを開放
することで、新たな活用を
生み出したい。

企業活動としてパブリッ
クスペースを活用したい。

マッチングのプラットフォームができないだろうか？



新着コラム

2015.03.09

公共R不動産、始まります。

公共R不動産、始まります。現在、日本中に使われなくなってしまった公共空間がたくさん存在します。少子化によって廃校になった学校。統廃合によって空になっ...

物件検索

学校

公園/道路

水辺

文化/スポーツ

役所/庁舎

その他

物件検索

検索

BOOKS

RePUBLIC 公共空間のリノベーション

募集中

活用中

北の大地に佇む校舎で酪農を

北海道登別市 札内町73-3

活用中

のぼりべつ酪農館

"北海道登別市"と聞いてピンとくるのは「登別温泉」。登別市は長い間温泉街として栄えており、今でも多くの観光客で...

街に開かれた、かつての中学校

東京都千代田区 外神田

活用中

アーツ千代田3331は、旧千代田区立練成中学校を利用したアートセンター。地下1階、地上3階の建物に、ギャラリー、オ...

大人のトンネル

浜松市天竜区横川 大川相津トンネル

活用中

浜松フィンセラ-

浜松市に面白い活用事例を見つけました。旧国鉄が建設計画をしていましたが、政策の変更により開業に至らなかった幻...

明治に建てられた木造校舎

茨城県大子町初原

募集中

旧初原小学校

公募期間:

茨城県大子町はこの旧初原小学校以外にも木造の廃校が残る珍しい場所です。なので、いわゆる「廃校ハンター」的な人...

河川敷地のオープン化

埼玉県が管理する一級河川(151河川)の区域

募集中

旧・現施設名称

公募期間:公募期間:2014.11.12~

埼玉県が市町村からの要望書を踏まえて、区域を指定します。協議会の設置が必要で、(関係市町村(専断員)、地...

コラム

2015.03.09

公共R不動産、始まります。

公共R不動産、始まります。現在、日本中に使われなくなってしまった公共空間がたくさん存在します...

コラム一覧

公共R不動産

🔍 物件検索

🏫 学校

🌳 公園/道路

🌊 水辺

🏟️ 文化/スポーツ

🏢 役所/庁舎

🏠 ETC. その他

🔍 フリーワード検索

 検索

➡️ 有効活用までの流れ

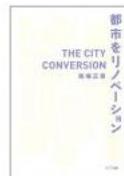
<遊休空間から活用まで>

募集中物件を
借りる・買う
までの流れ

📖 BOOKS



RePUBLIC 公共空間のリノベーション



📄 詳細情報

募集中 <事業者募集>

オープンカフェ 🍵

オープンカフェが似合う街並み

日本大通りのオープンカフェ

所在地： 横浜市日本大通り

交通： みなとみらい線「日本大通り」駅 徒歩1分

価格： 月額平米あたり1,100円

期間： 随時

日本大通りのポテンシャル

オープンカフェが並ぶ素敵な街並み。ヨーロッパなんかでは日常的にみかける光景ですが、こと日本ではなかなか出会わないなあ、という気がしています。

でも日本にだって素敵な街並みはあるわけで、この横浜日本大通りの街並みも僕が好きだな街並みの一つなんですけど、こんな通りにオープンカフェが並んだら素敵だろうなあ、と思っていたら、実はオープンカフェの出店募集してるんですね。

場所は日本大通りの横浜公園から本町通りの間の部分。この通り沿いにはZAIMこと旧関東財務局や県庁、裁判所など古くてカッコいい建物が残ってますし、大きな樹木が並ぶ広くて歩きやすい歩道にオープンカフェが並んだら、さぞ素敵な光景になりそうだなあと。横浜スタジアムや横浜公園など、人が集まる場所も近くにあり、ポテンシャルは高いと思うんですね。

募集条件は細かく決められていますが、賃料は平米あたり月額1,100円（変動あり）、期間は3月中旬から11月末の約8ヶ月間、定休日を除き原則毎日営業し、営業時間は11:30から16:00まで、などがありますので、手続きも含めてご確認ください。

いいね! シェア 0 ツイート 0

詳細は、以下リンクをご参照ください。必ず担当課へご確認ください。

詳細

[日本大通りオープンカフェ出展要項](#)

オープンカフェが似合いそう



歩道も広くて気持ち良い



通りに面する建物もカッコいい



もっと人が集まる通りになってほしいです



🔍 物件検索



学校



公園/道路



水辺



文化/スポーツ



役所/庁舎



その他

🔍 フリーワード検索

検索

➡ 有効活用までの流れ

< 遊休空間から活用まで >

募集中物件を
借りる・買う
までの流れ

📖 BOOKS



RePUBLIC 公共空間のリノベーション



📄 詳細情報

募集中 < アイディア募集 >

キャンプ場

蛭とキャンプ！

蛭ヶ谷キャンプ場

所在地： 京都府京都市北区雲ヶ畑中津川町

交通： 京都駅から車で50分

期間： 随時

京都でキャンプ

京都市の北部、市街地から車で数十分で、大自然に触れることができるスポットを発見しました！

その名も蛭ヶ谷キャンプ場。

蛭と京都という単語の組み合わせだけでも風情を感じてしましますが、蛭とキャンプ、なんていい響きでしょう。

付近の加茂川には実際に蛭が生息。夏にはその美しい姿を現します。

水中観察に植物観察、場内には共同炊事場もあるので飯盒炊爨も。

森を駆け回って、川遊びをして、ちょっぴり焦げた力作のカレーを食べて、蛭を見て眠りにつく。そんな贅沢のあとに、京都観光も可能なこの立地。ホテルの代わりにキャンプ、なんて選択肢にもなりそうです。

活用のアイデア募集中です

現在は一般開放を休止しているこのキャンプ場。

もっとみんなに使って欲しい。

ここを有効活用するアイデアを募集中です。

少年少女（永遠の少年少女含む）をちょっぴり大人にするフィールドを、あなたの手で、もっと魅力的にしてみませんか？

[いいね！](#) [シェア](#) 0 [ツイート](#) 0

詳細は、以下リンクをご参照ください。必ず担当課へご確認ください。



もう看板から風情たっぷり



この道を越えていく先に



ありました！キャンプ場ゲート。



見よ！この大自然！



🔍 物件検索

学校

公園/道路

水辺

文化/スポーツ

役所/庁舎

その他

🔍 フリーワード検索

検索

➡ 有効活用までの流れ

< 憩休空間から活用まで >

募集中物件を
借りる・買う
までの流れ

📖 BOOKS



RePUBLIC 公共空間のリノベーション



📖 詳細情報

📌 活用中 <酒蔵>

旧・小学校

元理科室で仕込む美酒

学校蔵

所在地： 新潟県佐渡市西三川

面積： 1,200㎡ (延床面積)

期間： 2013.5～

廃校を酒蔵に

佐渡の廃校が、酒蔵に生まれ変わりました。

市町村合併と少子化に伴い、2010年に廃校となった旧西三川小学校は、「日本で一番夕陽がきれいな小学校」と謳われた学校。歴史あるみんなの思い出の校舎を、酒造りの学びの場に。

立ち上がったのは、地元佐渡で122年の歴史を持つ、老舗の蔵元、尾畑酒造でした。

2014年始動

酒米の仕込みを行うのは、もともと理科室だった場所。

昨年11月には仕込み一期生となるお酒が、ここから全国へ巣立ちました。

上質な酒米をはじめとして、お酒の材料は全て佐渡産。さらに佐渡の杉材を浸漬することで、木造校舎の木のぬくもりを感じさせる風味に仕上がっているとのこと。これはぜひ飲んでみたい！

プールでソーラー発電

さらにお酒を醸す工程では、環境にも配慮。

プールにはソーラーパネルを設置し、酒造りに必要な電力の2割を太陽光でまかっています。

朱鷺舞う佐渡の豊かな自然を活かし、残していくための試みです。

今後はこの学校蔵を酒造りの学びの場や、地域の交流拠点としても開いていくとのこと。

まだまだ目が離せません。



学校蔵から巣立つお酒を廊下に。今にも児童が駆け出してくる。



この海を見下ろす丘の上の小学校



昭和30年築の木造校舎が美しく保たれています



RePUBLIC TOKYOとは？

- **オリンピックを契機に、パブリックスペースを開放。**
- **理想のパブリックスペースを創出するきっかけ、試行錯誤の場とする。**
- **そのパブリックドメインをつくってみる。**